

第19期 昭和43年3月卒

雪高1-9クラス会の流れと報告

～還暦祝とともに～

もう45年も前のことだけど、若かったあの頃
雪高の門をくぐって、心ときめいていたあの頃
新入生歓迎週間でフォークダンスをしたあの頃

そんな時、出会った私達

2010年11月27日(土) 3:00PMから、45年ぶりの雪高1年9組のクラス会が始まった。思い出す、あの顔・この顔「ヤア、久しぶり!」と言った瞬間、時間はタイムスリップし、45年前の自分達に戻っていた。

初めに、皆に報告しなければならないことがあった。それは、担任であった園田晴男先生のことである。つい2日前に、息子さんから年賀欠礼のハガキが届いて知らされたことである。全員で、辛いことだが、1分間の黙祷をした。

気持ちを整える意味でも、ちょうど予定されていたピアニストによる演奏を10分程聴いた。園田先生も「折角、皆さんが集まったんだから、楽しくやりなさい」と言われているような気がして、久しぶりの再会に、乾杯した。

延べ人数では、22名が参集した。嬉しかったのは、遙か遠方から航空機や新幹線で、来てくれた人達もいたということである。龍馬ゆかりの高知県や、食べ物豊富な富山県、富士山の麓の静岡県等・・・それだけでもワクワクした。

男女ほぼ半数ずつだったが、座席は、4列で、初めは、ほとんどが男性同士、女性同士で向かい合っていた。「男女かたまらないで、交じればいいのにさあ」というと、「初めはいいんだよ」という声が出て、仕方ないかと流した。

それぞれのテーブルで、話が盛り上がってきた。テーブルの上には、ビールや日本酒、ワイン(ほとんど差し入れもの)とともに、富山県からのおみやげのささ寿司やこぶ蒲鉾が並び、用意された一口茶巾寿司等々で賑わっていた。

そうこうするうち、女性の一人が「列で移動すればいいんだよ」とアイデアを出した。「そうだな、それがいい」となり、真ん中の2列目と3列目が入れ替わった。これで、男女が交じって、いろんな人と話せる状況になった。

途中、パネルに映し出された高校時代の写真に懐かしさが込み上げてくる。入学式の時に親子で並んでおセンチパークでの写真、今回、皆に送り届けた入学当時のクラス写真、潮来の遠足やクラス独自の鎌北湖ハイキングの写真等。

一人一言ずつ、何かをしゃべってもらって、声を聞きましょうということになり、「高校時代のことでいいし、名前だけでもいいからな」とあまり制約せずに進行したが、始めてみると、結構いろんな話が出るわ出るわという状態。

1次会だけで帰る人もいたので、集合写真を撮ることにし、ピアノの周りにならんで撮った。初め、世話役がシャッターを切って、グルグル移動しながら撮り、オートタイマーでも撮ったりした。「やり直し」を何回もしてしまった。

「今日が最初で最後じゃなくて、今回、来たくても来られなかった人もいるし、できた、また、来年やりましょう! 鎌北湖に皆で行ったのが1月14日の日曜日だったから、その日に近い土曜日ではどうですか?」「OK」となった。

2次会は、世話役は当初、近くの飲食店に行こうと計画していたが、勧誘が出て、「可能なら場所を変えないで、ここではどうか?」「異議なし」となり、座席を替えながら、続けた。ほとんどの人が残って、また、盛り上がった。

「2次会は、遠い人もいるから8時半をメドにしましょう!」と、言いつつも、話が尽きない様子もあり、少し延長したが、9時になって、ようやく、締めになった。な～ごりは尽きねどりと、久しぶりの再会に、長く短い時間が過ぎた。